

■ 気仙沼第一聖書バプテスト教会新会堂建設工事案 ■

4 プライバシーを大切に 牧師館機能

- 牧師館は牧師家族のプライバシーを大切にするために、教会堂施設と切り離している
- 敷地の一番高い位置にもあり、落ちついた日常生活が出来るようになっている。
- 牧師書斎は1階に配置した。教会事務室でも執務する事が出来るが、夜落ち着いた時間での執務をする事が出来る。外部テラスも設けて教会との接点としている。
- 2階部分に居間や食堂などを設け眺めの良い明かい開放的な住空間を計画している。
- 1階部分に寝室等個室がまとまっている。
- 床面積 130.84 m² (39.57 坪)



2 地域に開かれたコミュニティの教会 多目的交流ハウス + オープンデッキ

- 4つの機能を広場の周りに配することによって、地域に開かれたコミュニティ教会を提案している。
- 特に多目的交流ハウスは、日曜日の教会員の交わりの空間と同時に、また平日に地域に開かれた交流空間として機能するように提案している。
- 多目的交流ハウスは広場に向かってガラス窓開口部を多くとることによって、視覚的に開放性を高めている。
- 広場は芝生広場と木製デッキの二つの広場からなっている。広場は中央にあり、地域に大きく解放されており、地域と教会の接点となっている。地域に開放され多目的に使用することができる。
- 床面積 89.02 m² (26.92 坪)

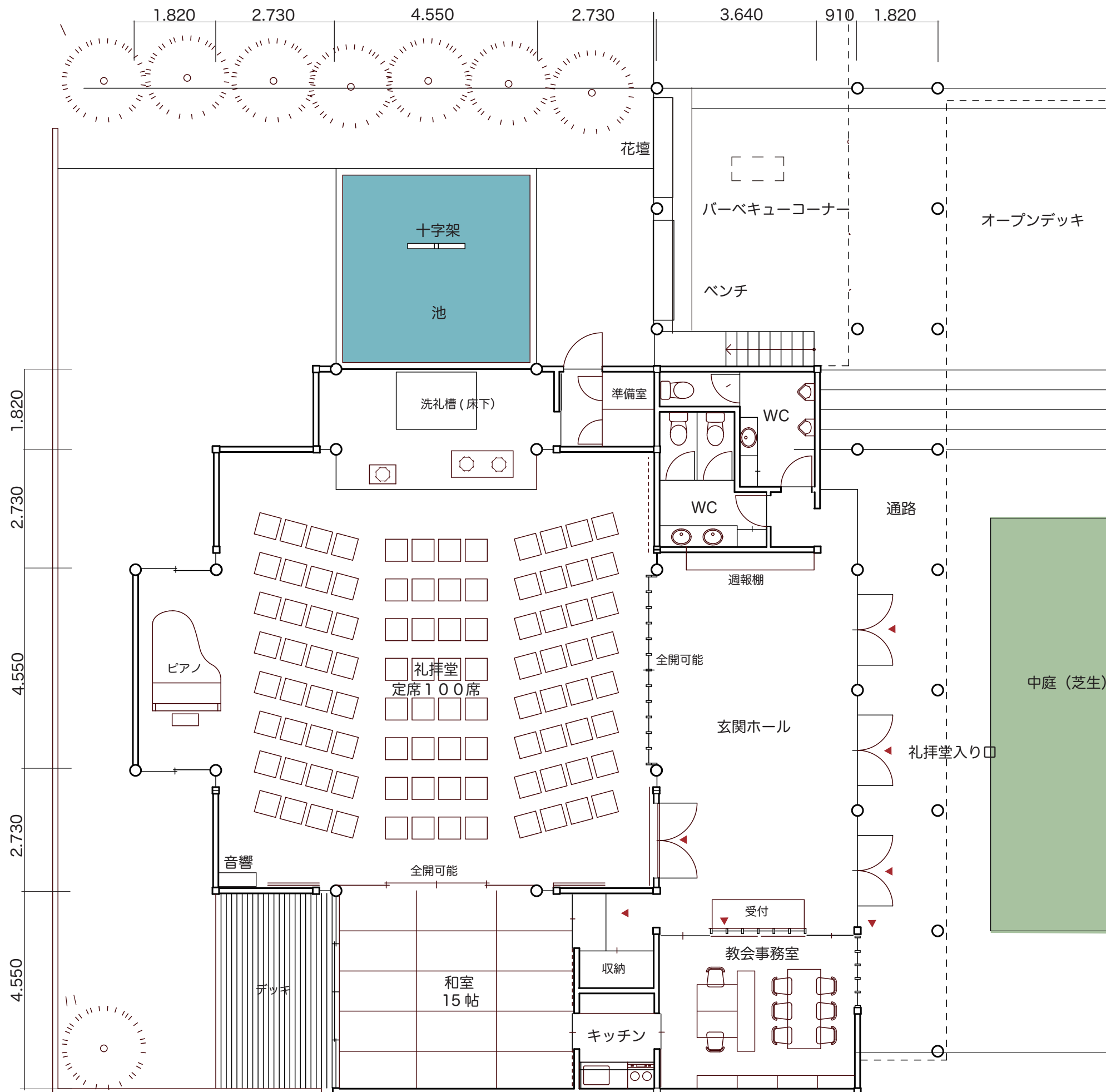
3 三陸の復興を支える ボランティアセンター機能

- 既存所有のプレハブ2棟を移設する。また中央部に洗面、トイレ、浴室を新設し繋げる。
- 三陸の復興を支えるボランティアセンターの役割をはたす事が出来る。
- ボランティア時は、水廻りも備わり、男女別の宿泊も可能である。
- また、祈禱会や分級、小集会なども可能であり、英会話やサークル等地域に解放されたスペースとしても使用可能である。各施設が別棟になっているので管理がしやすくなっている。
- 床面積 92.75 m² (28.0 坪)
既存プレハブ面積 39.75 m² × 2棟 増設部分面積 13.25 m² (4 坪)

1 おごそかな霊的礼拝空間 礼拝堂

- おごそかな礼拝が出来る事を目的に、独立した礼拝専用のチャペルを計画した。
- 礼拝堂には誰でも気軽に入れるように、広場に大きく開いており、ガラスにより開放性を高めている。
- 礼拝堂の外部に十字架があり、水面に象徴的に立てられている。その十字架の水面と講壇の下にある洗礼槽の水面は、同じ面となる。
- 常時は100名の収容であるが、ロビーおよび和室の扉を開放すると、150名ほどの収容が可能となる。
- ピアノコンサートも可能な配置になっている。
- ロビー、教会事務室、和室、キッチン、WCなどが付属している。
- 床面積 227.73 m² (68.88 坪)





- 礼拝堂

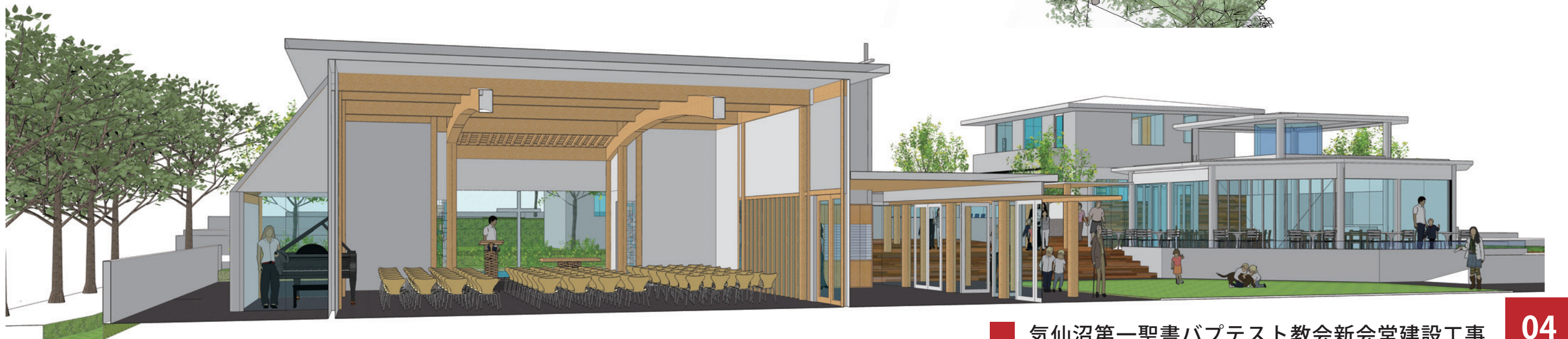
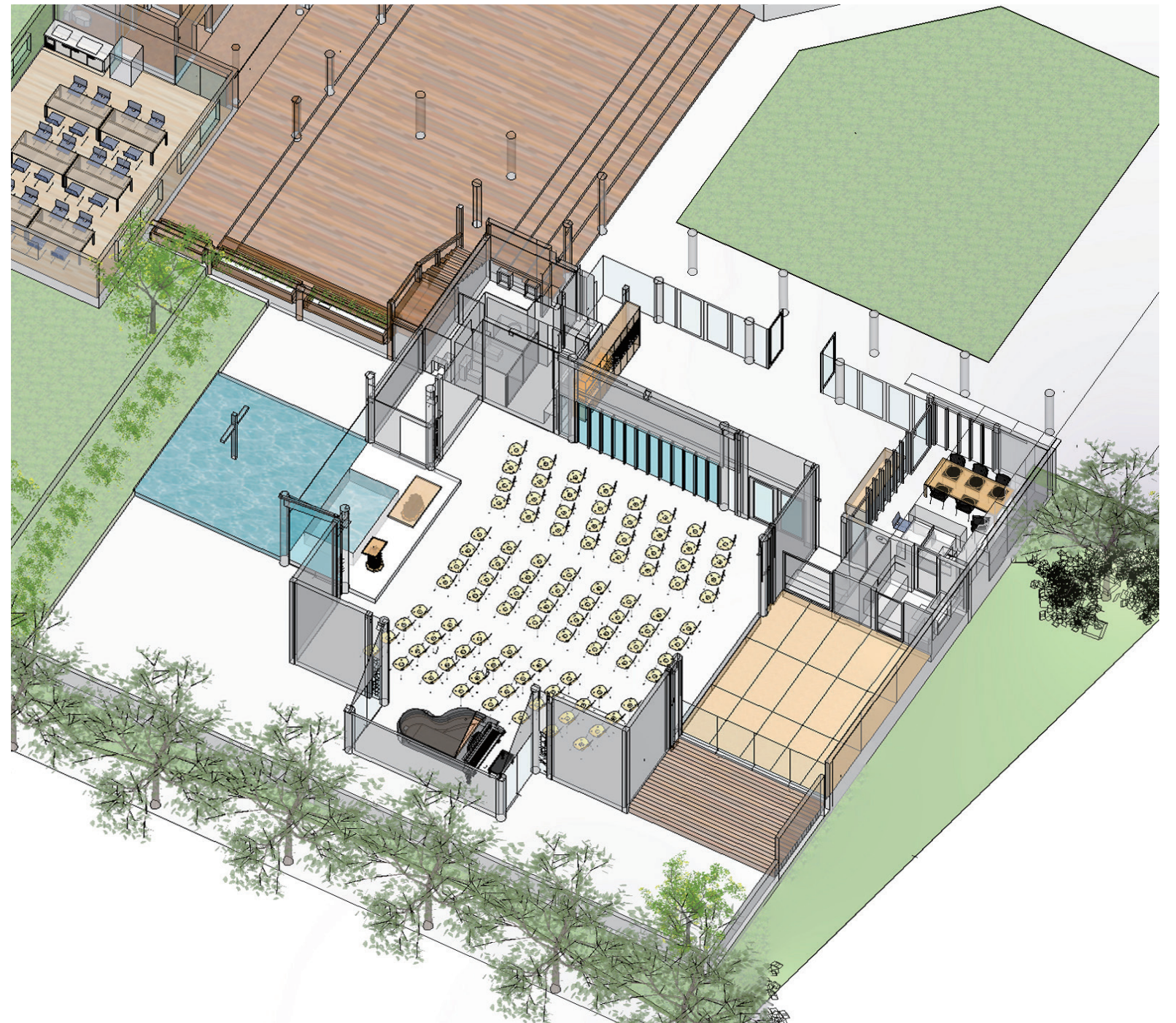
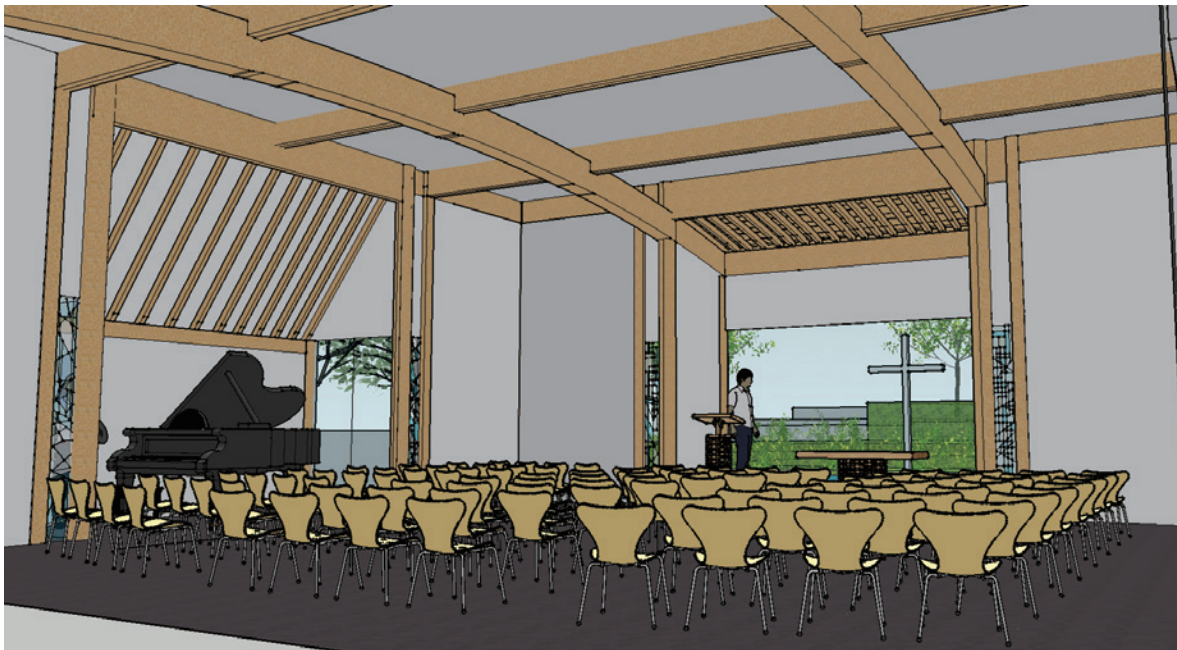
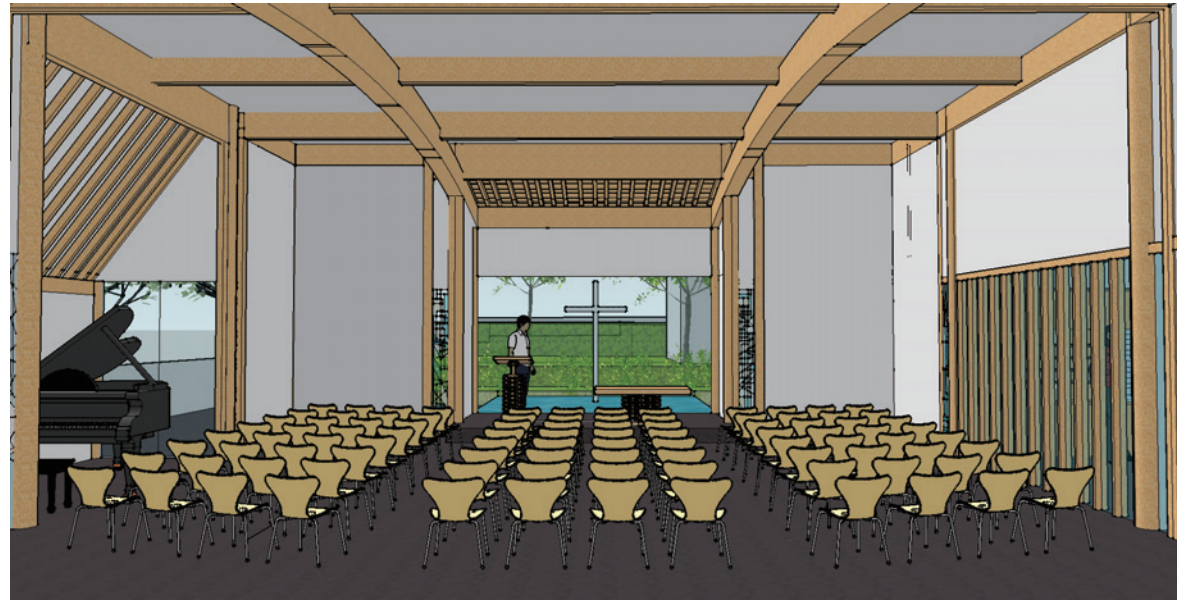
床面積 118.41㎡ (72帖)
- 定席 100 席。玄関ホール、和室開放時、150 席収容可能。
 - 主要構造は木造大断面構造。柱梁は大空間に耐えられる集成材を使用する。5.5 間×5.5 間のスパンを木造の梁組で構成する。空間に力強さが表現される。また、大梁は緩やかな曲線となり、神様の約束の虹を表現している。空間に優しさを与えている。
 - ピアノ方向での、音楽コンサートも可能なように音響への配慮も加えている。(コンサート時、南が正面となる)
- 十字架・池
- 十字架は外の池の水面に象徴的に立っている。ガラス越しにその十字架を見て礼拝をする。
 - 洗礼槽の水面は、十字架の水面と同じレベルで視覚的につながる。十字架の恵み、新生を感じる。
- 和室

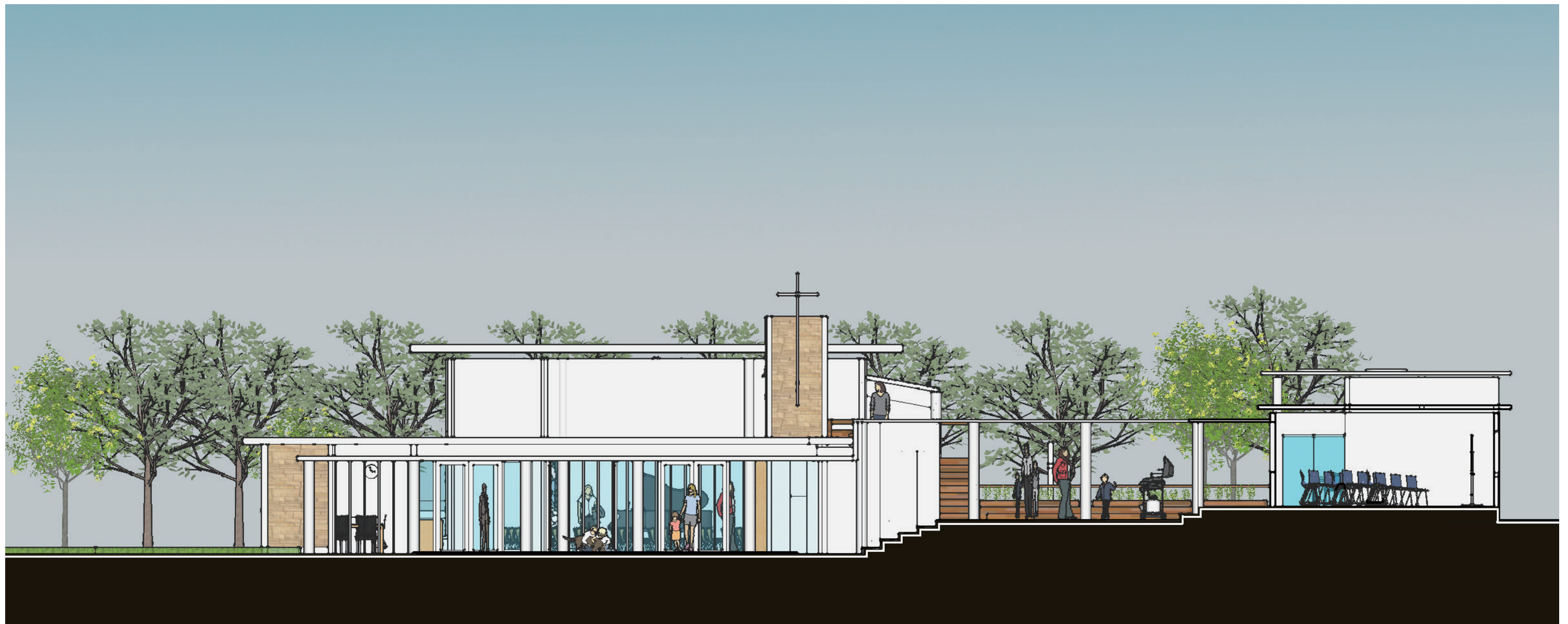
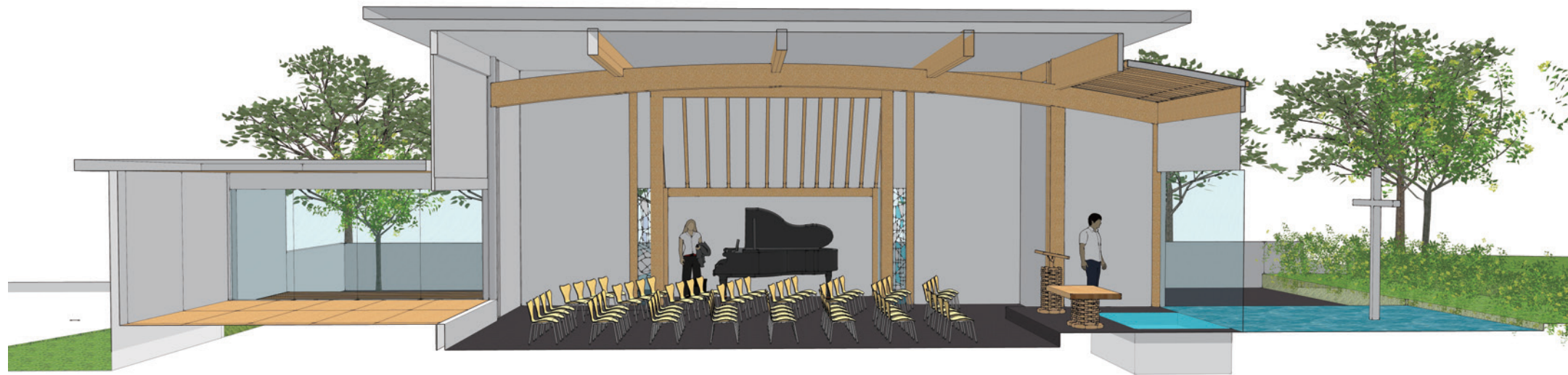
床面積 24.84㎡ (15帖)
- 礼拝堂より 30cm 床が高い。南開口部よりデッキに通じ南庭につながっている。大きな南窓の明るい和室空間。
 - 小集会、分級、会食等、礼拝堂に付随し多目的に使用する。
- 教会事務室

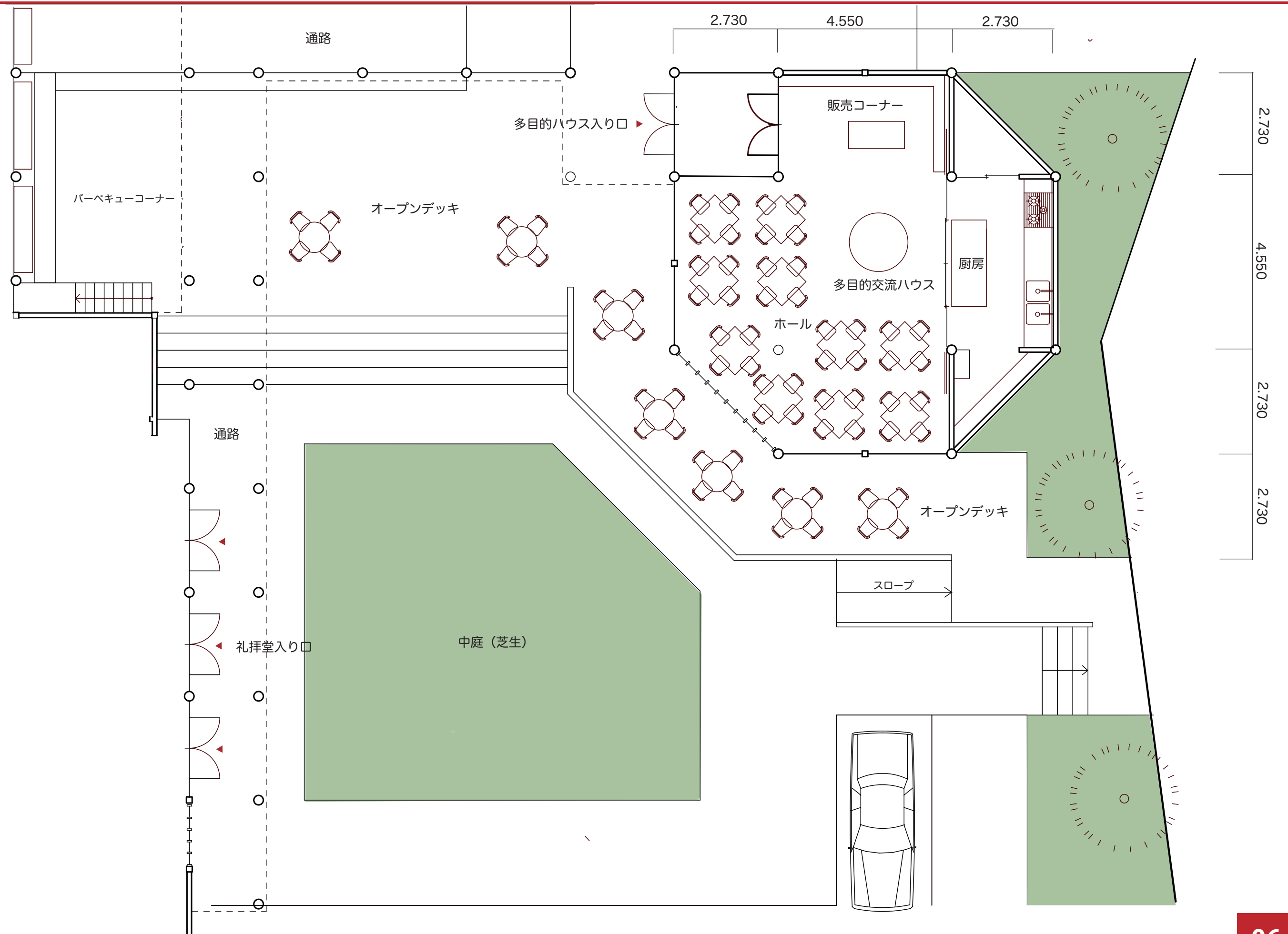
床面積 16.56㎡ (10帖)
- 視覚的に玄関ホール、中庭につながり、管理しやすい位置にある。事務机 2 ヶのほか、テーブルがあり、休憩、ミーティング、奉仕作業が可能なスペース。
- 玄関ホール

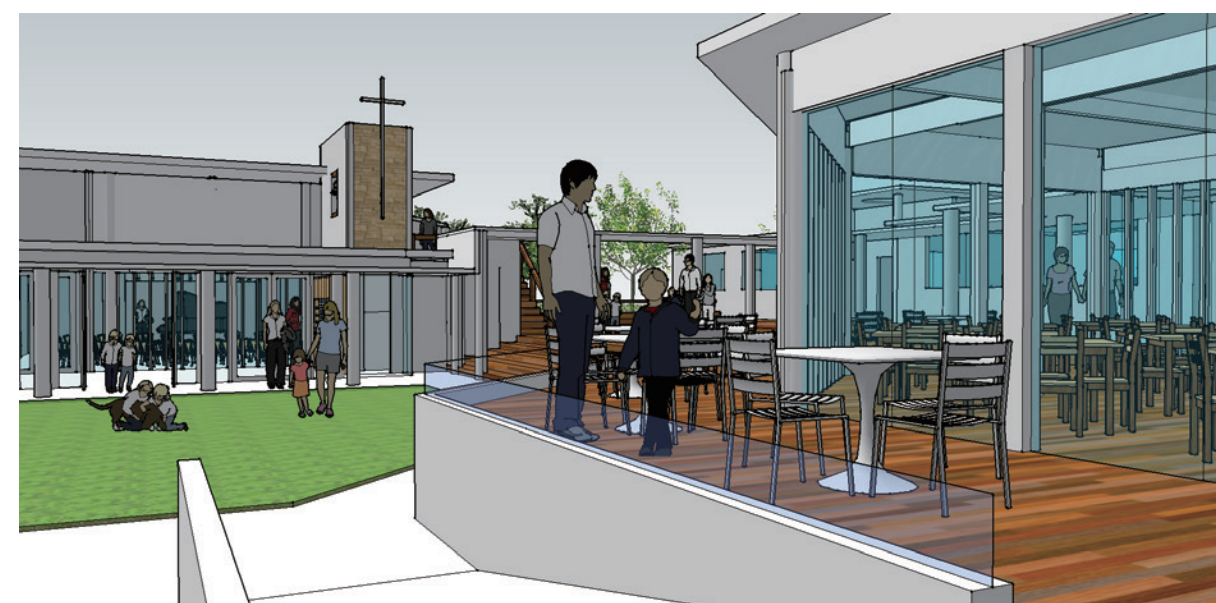
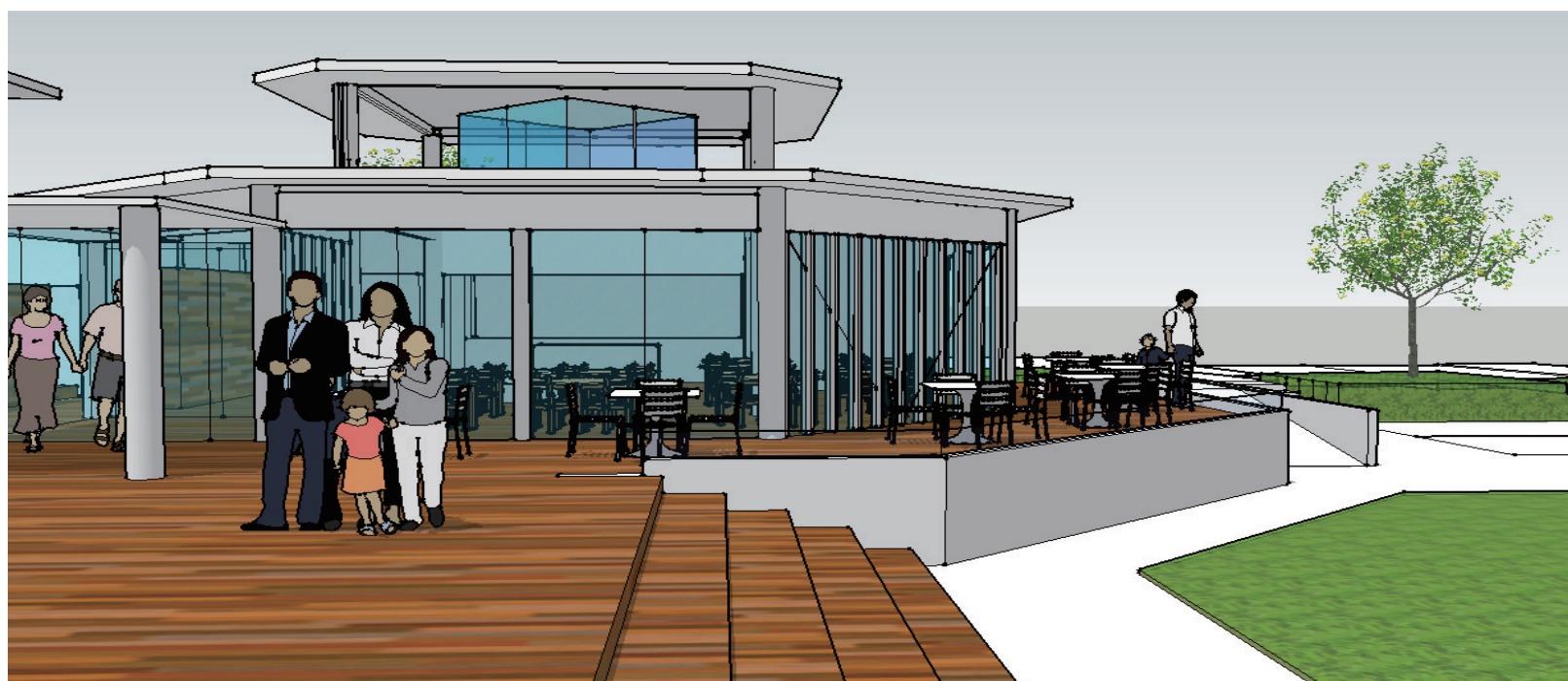
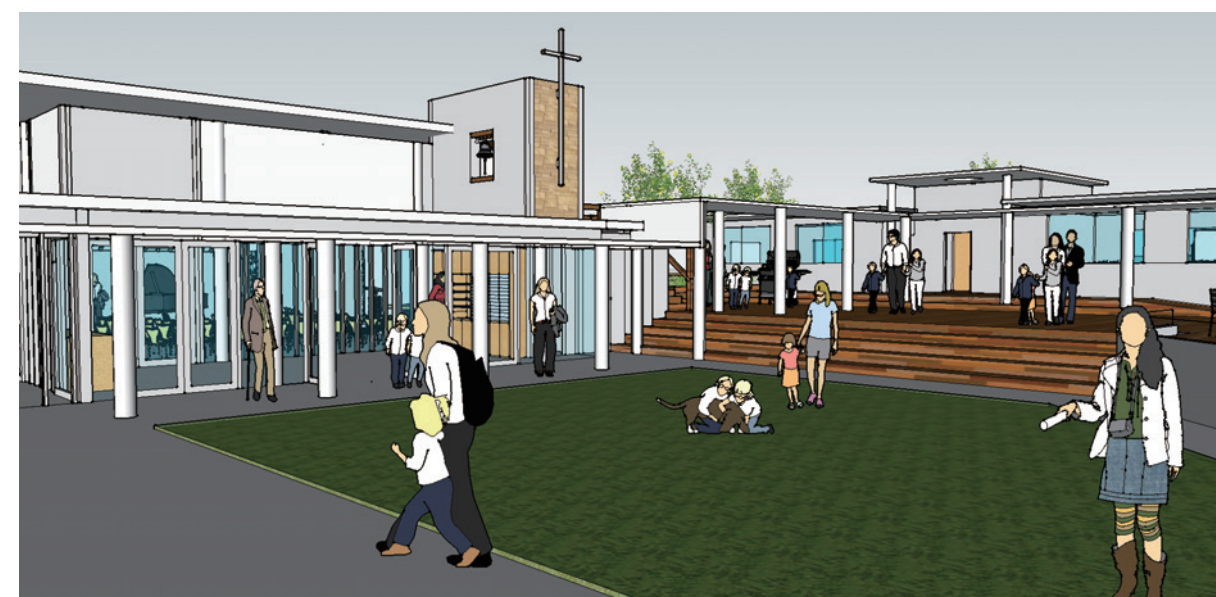
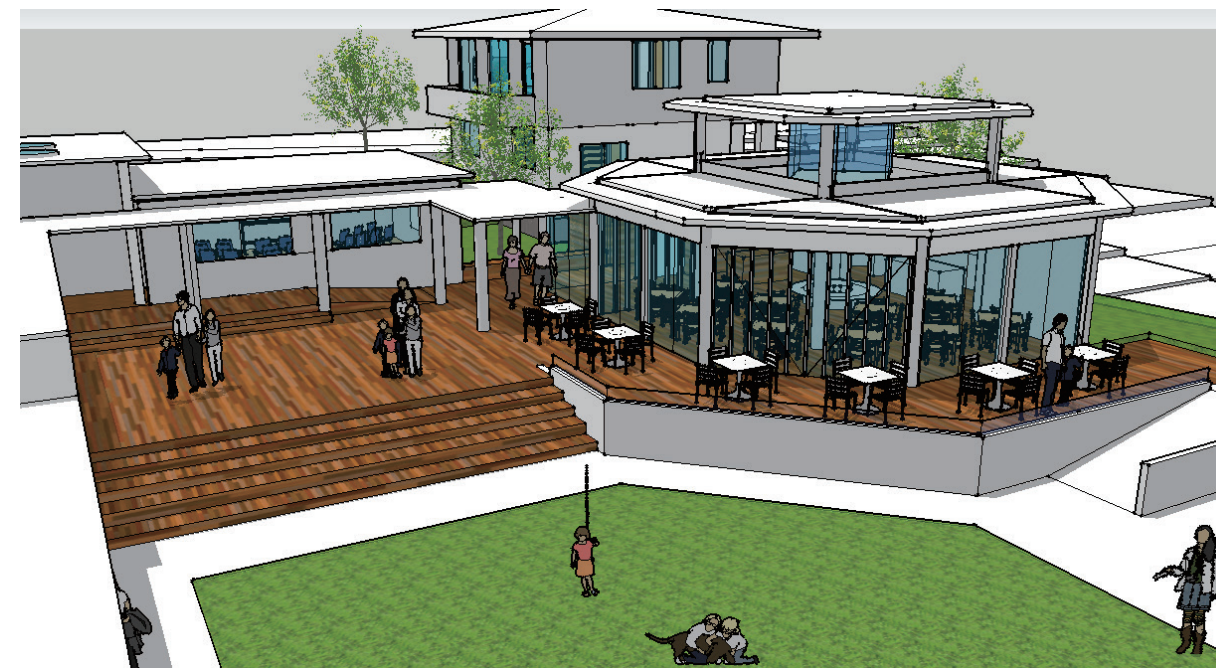
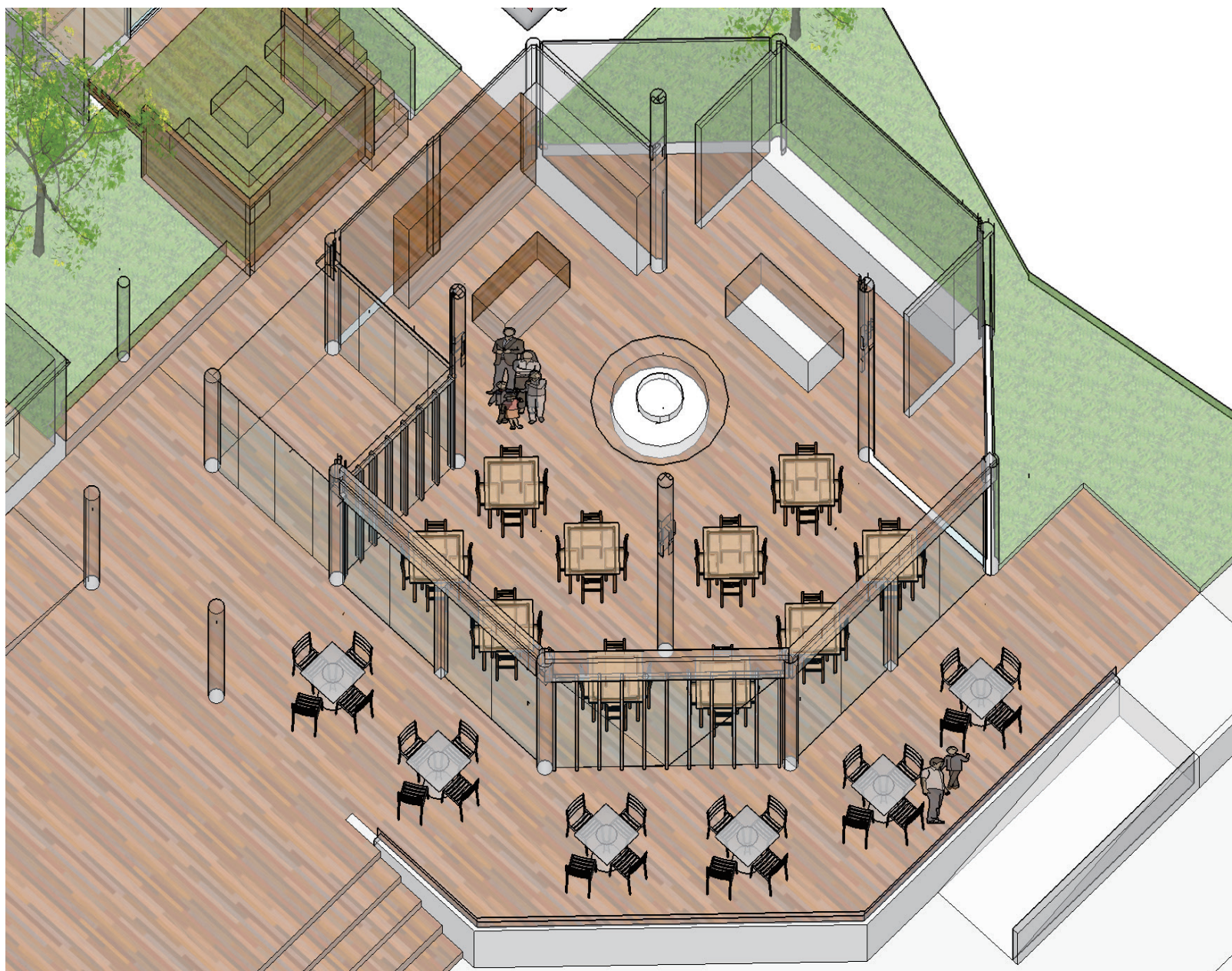
床面積 40.55㎡ (24.5帖)
- 玄関ホールと中庭はガラス開口部で視覚的に大きく解放されており、入りやすくなっている。
 - 受付、週報棚が設置されている。格子状の間仕切りは全開され、礼拝堂と一体となり使用される。
- キッチン

床面積 4.16㎡ (2.5帖)
- キッチンより、和室と教会事務室にサービスされる。
 - IH ヒーター内蔵のシステムキッチンを採用する。
- WC
- 男子 WC は、大 1 小 2。女子 WC は、大 2 となっている。
- 通路
- 各施設を低く伸びた水平屋根で結んでいる。各施設に人をやさしく招き入れる大切な空間。











中庭

- 各施設は広場に面し、通路でつながって機能している。
- そして広場は大きく地域に開いて、人を招いている。
- 広場は敷地の高低差を利用し、芝生の中庭と木製のオープンデッキの二つの違う種類の広場からなっている。80cmの高低差を5段の階段で結んでいる。階段は時に、ベンチにもなり芝生部分がステージになったりする。また逆にデッキ部分がステージになり、芝生が観客席として使う事も出来る。屋外での多様な催し物に対応する。
- 芝生の中庭からは、教会堂の内部の様子を垣間みる事が出来る。

オープンデッキ

- 2×6材の木材から構成されたデッキで、屋外用のテーブル、椅子を設置する。開放的な楽しい空間となる。
- 南側にバーベキューコーナーも設けており、礼拝後やいろいろなイベント時に対応する。周辺にベンチも常設してある。
- 各施設はオープンデッキにつながっており、室内と外部空間が連続し、広場に開かれた明るい自由な使用が可能になっている。
- また、各施設は屋根付きの通路によって結び合わされている。

多目的ハウス

- 本来教会内部にある信徒交流スペースを、あえて分離し別棟にしている。日曜日は教会のスペースとして使用し、平日は地域向けに機能する空間として提案している。
- 厨房、売店コーナー、倉庫等の機能をもっている。
- 椅子席 60 程度の収容は可能である。

駐車場

- 27 台の駐車が可能。浸透性アスファルトを採用。
- 敷地西部分（将来建設予定地）に臨時に 10 台程度駐車可能。

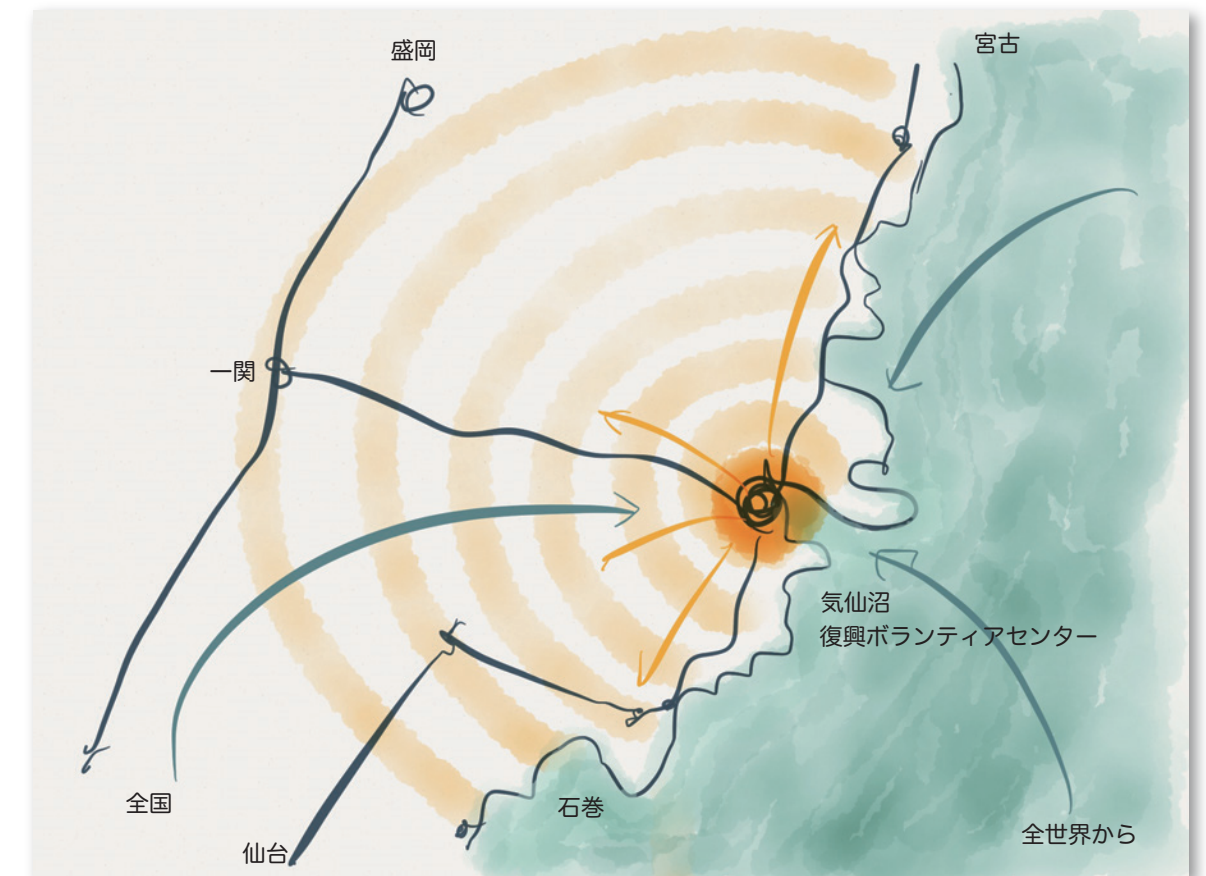
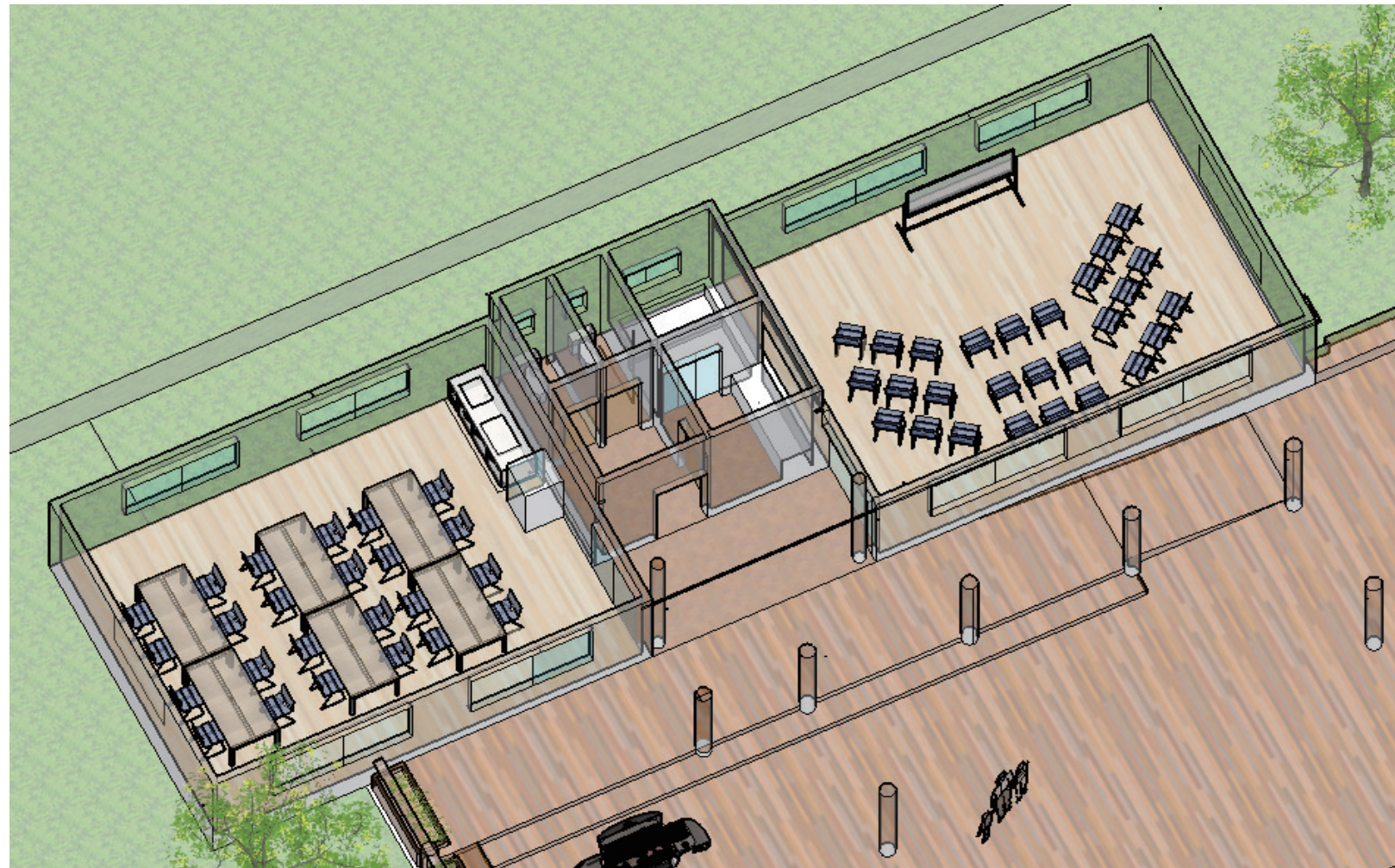
周辺樹木

- 手入れが簡単で丈夫な草花を植えたい。樹木は 15 本程度植樹予定。

談話サークルベンチ

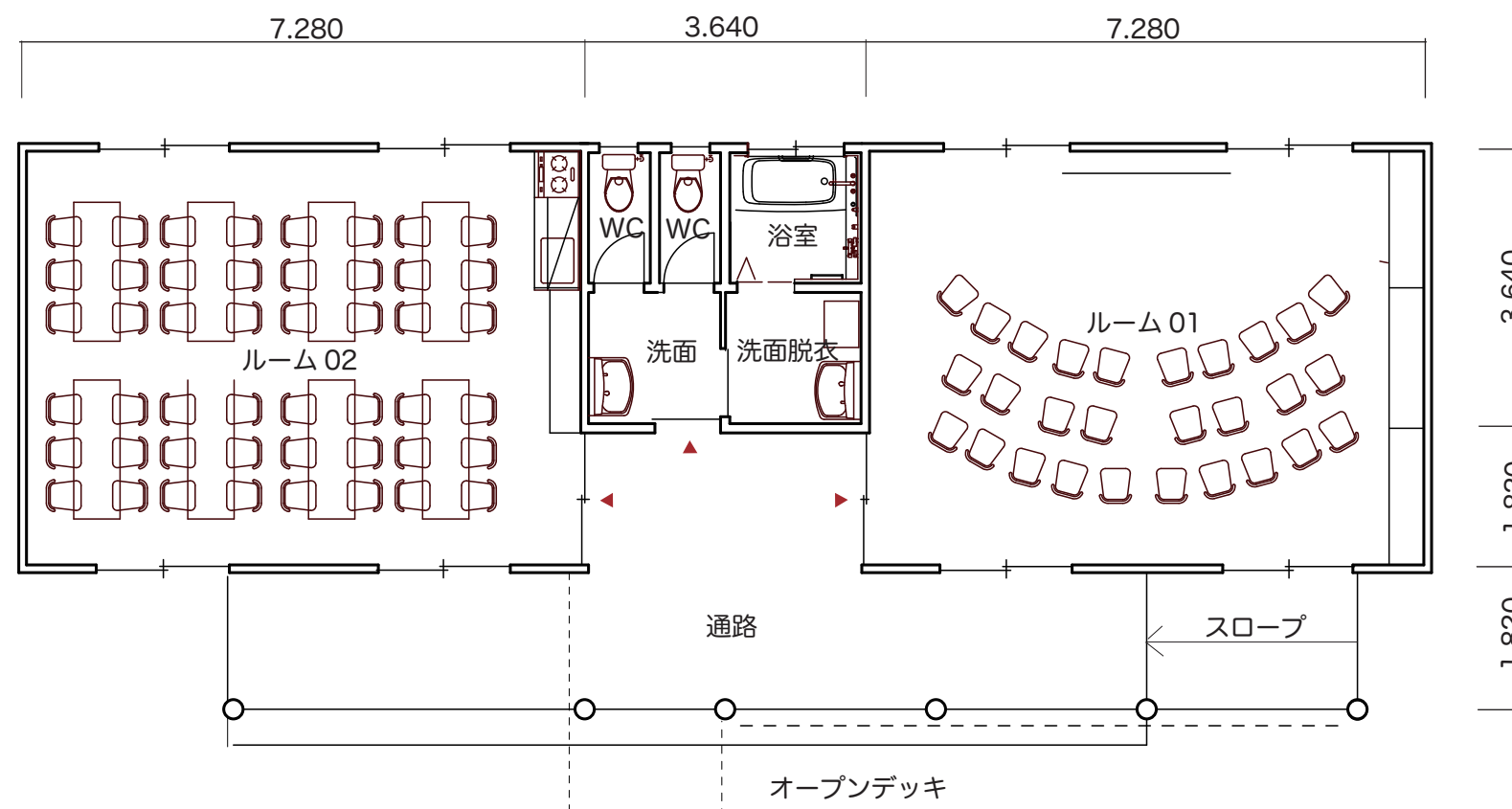
- 北側緑地帯に、サークルのベンチを設けて、談話スペースにする。





気仙沼／三陸の復興を支える — 復興ボランティアセンター

- 震災後、気仙沼第一聖書バプテスト教会は自分たちが被災したにもかかわらず、地域の復興に大きく貢献してきた。また御教会は全国の多くのクリスチャンやキリスト教諸団体のボランティアを受け入れて、共に地域復興のためキリストの愛を示し続けてきた。
- そして、なお震災から2年が経過したが、まだ復興の必要は大きく、教会が求められている働きは多いと思われる。その必要に答えるため計画では『復興ボランティアセンター』の機能を持たせている。
- 礼拝堂施設と分離する事によって、ボランティアという独自性を発揮し、教会活動のペースを乱す事なく、他のボランティアチームを受け入れやすくなっている。ボランティアチームは食事の場として、交流多目的のハウスを使用する事も出来る。
- また、ボランティアセンターは多目的にも利用される。ボランティアの宿泊施設以外にも集会施設として、英会話教室等、祈祷会等々多用途に活用される。
- 場合によっては、地域に開放される事も考えられる。





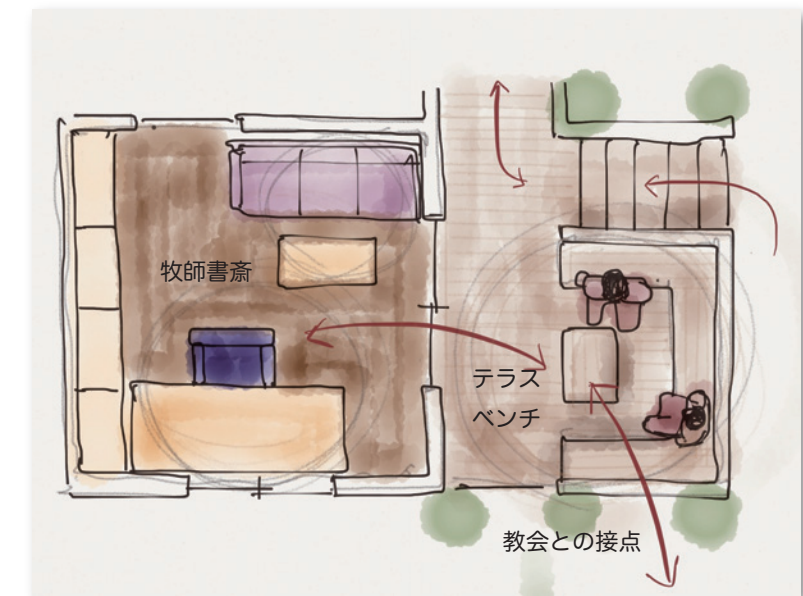
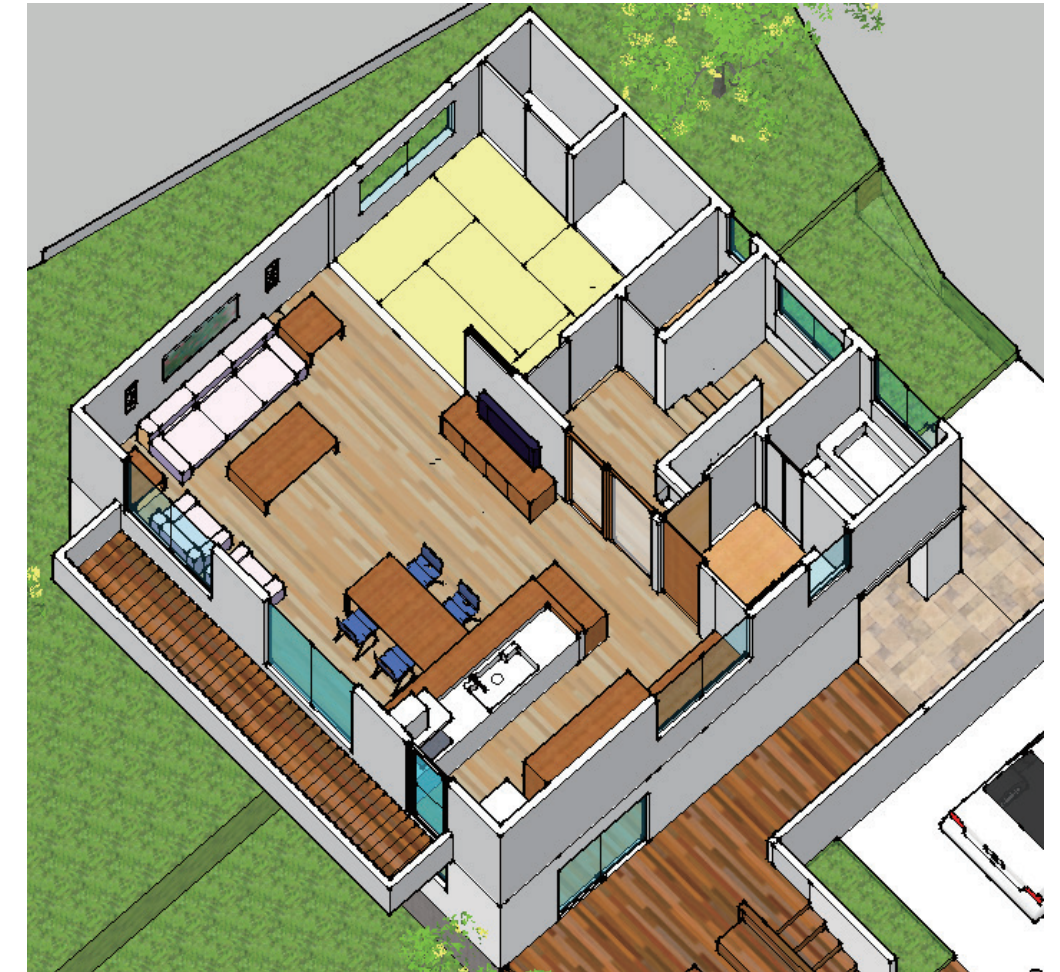
- リビングダイニング22.5 帖
- 2階南側に窓を大きくとり、居間と食堂、厨房をワンルームとし、解放的で明るい空間とした。
 - L=2700の対面式システムキッチンを設置する。IHヒーターを採用する。家事コーナーも明るい窓の下に設けた。
 - 南側に開放的なベランダを設け、物干し場等に活用される。

- 和室6 帖
- 6帖の和室は3枚引きのふすまを開放し、居間と連続し大きくつながる。
 - 客間など、多用途に使用される。

- 水廻り
- 厨房、洗面、浴室と家事動線が連続して使いやすい。
 - 引き戸を採用して、風通しも良い。

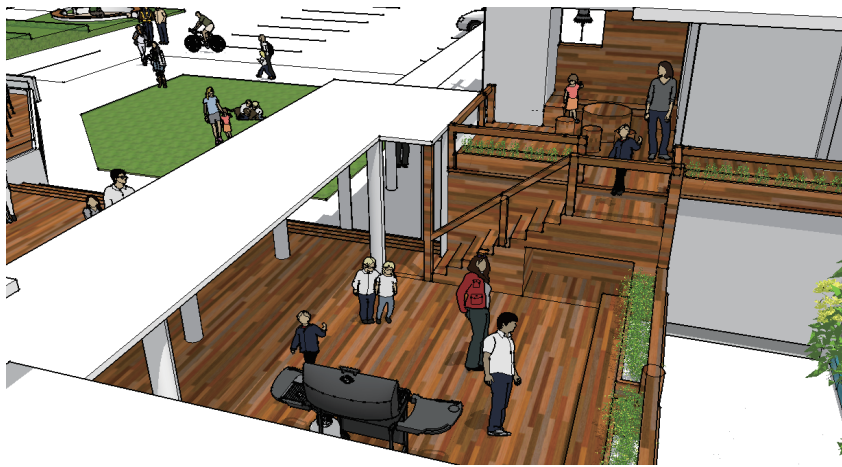
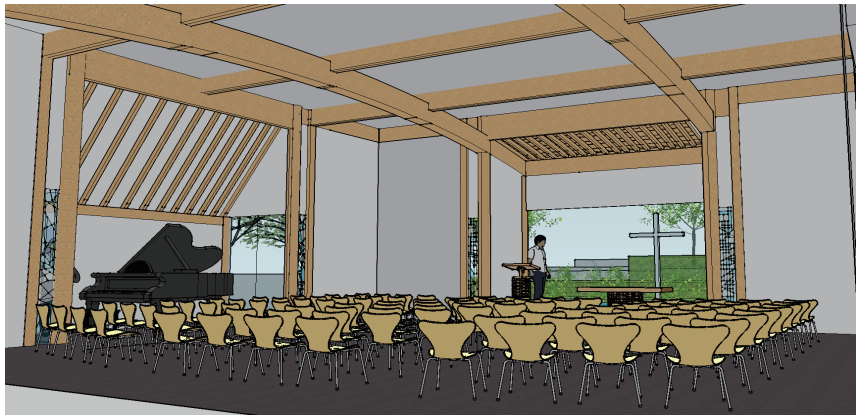
- 牧師書斎8 帖
- 牧師書斎を牧師館1階の東南角の明るい最良の場所に配置している。教会施設側にも隣接し、管理がしやすくなっている。
 - また、教会との接点として屋外にテラスベンチを設けた。
 - 書斎には本棚を壁面に設置し、また机や椅子、ソファが設置される。

- 寝室1・29 帖 / 6 帖
- 寝室の個室群は1階にまとめられている。
 - それぞれ大きな収納を設けている。
 - 床はフローリングを採用している。



床面積

1	礼拝堂	床面積 227.73 ㎡ (68.88 坪)
2	交流多目的ハウス	床面積 89.02 ㎡ (26.92 坪)
3	復興ボランティアセンター	床面積 92.75 ㎡ (28.0 坪)
4	牧師館	床面積 130.84 ㎡ (39.57 坪)
		1 階床面積 63.77 ㎡ (19.25 坪)
		2 階床面積 67.07 ㎡ (20.25 坪)



構造

- 礼拝堂
 - 大断面集成材による木構造 平屋建て
 - 礼拝堂は 5.5 間 × 5.5 間、高さ H=4.800 の空間を木造大断面集成材の梁組を現し、力強さを表現している。同時に曲線の集成材大梁は空間にやさしさをあたえている。
- 交流多目的ハウス
 - 木構造（在来工法）による 平屋建て
 - 木造在来工法により、木の大梁を組み合わせ、梁をそのまま現し、空間に豊かさを与えている。中央からのトップライトから光がふりそそぐ。
- 復興ボランティアセンター
 - 既存建物は鉄骨プレハブ工法、基礎は新たに建設する。内装は既存のまま。
 - 増築部分は木造平屋建て（在来工法）。
- 牧師館
 - 木造（在来工法）2 階建て。
- 通路
 - 木造（2×4 工法）
- オープンデッキ
 - 木造（2×6 材 キシラデコール防腐処理材塗装）

工事予算計画

- 礼拝堂
 - 600.000 円 / 坪 × 69 坪 × 1.05 = 43.470.000 円
- 交流多目的ハウス
 - 500.000 円 / 坪 × 27 坪 × 1.05 = 14.175.000 円
- 復興ボランティアセンター
 - 既存 100.000 円 / 坪 × 24 坪 × 1.05 = 2.520.000 円
 - 増築 600.000 円 / 坪 × 4 坪 × 1.05 = 2.520.000 円
 - 計 5.040.000 円
- 牧師館
 - 400.000 円 / 坪 × 40 坪 × 1.05 = 16.800.000 円

- 屋外通路
 - 70.000 円 / 坪 × 18 坪 × 1.05 = 1.320.000 円
- オープンデッキ
 - 30.000 円 / 坪 × 64 坪 × 1.05 = 2.016.000 円
- 中庭
 - 30.000 円 / 坪 × 63 坪 × 1.05 = 1.984.500 円
- 外構工事
 - 駐車場工事 15.000 円 / 坪 × 195 坪 × 1.05 = 3.071.250
 - 縁石工事 一式 500,000 円
 - 造成工事 一式 500,000 円
 - 土留工事 一式 500,000 円
 - 植栽工事 一式 500.000 円
- 備品工事
 - 礼拝堂、多目的交流ホール備品 一式 4.000.000 円

- 諸経費
 - 設計監理報酬 一式 4.000.000 円
 - 確認申請費 一式
 - 登記費用 一式
 - 式典費 一式

総合計 98.176.750 円



パレスグランデール エルシオンチャペル (山形市)



日本基督教団 山形本町教会 (山形市)



日本基督教団 秩父教会 (埼玉県)



パレスグランデール カナチャペル (山形県寒河江市)



ウェスレアン・ホーリネス教団 八潮キリスト教会 (埼玉県)



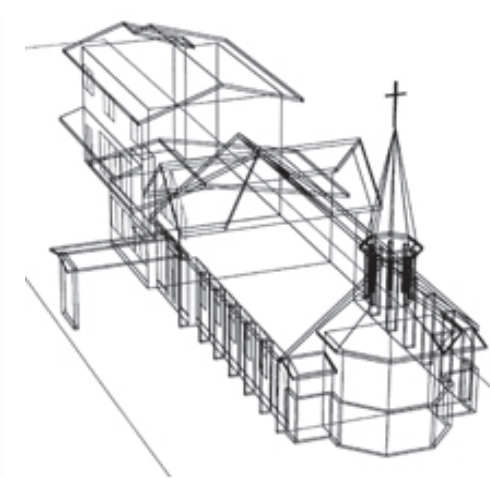
日本基督教団 天童教会 (山形県天童市)



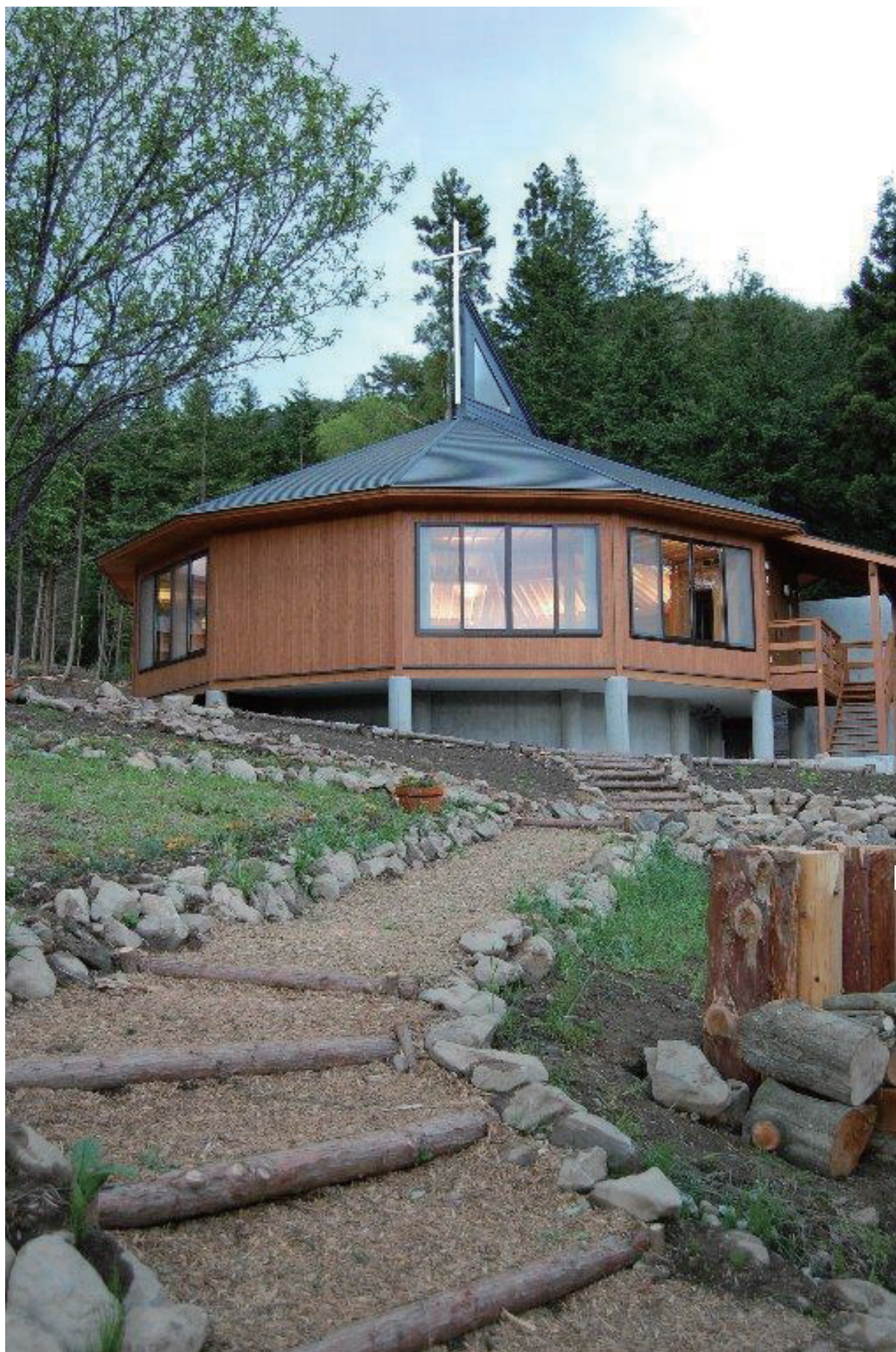
三条キリスト教会 (新潟県三条市)



フリーメソジスト教団 町田福音キリスト教会 (東京都町田市)



ルーテル同胞教団 酒田キリスト教会 (山形県酒田市)



駒ヶ根パノラマ愛の家（長野県）